

## 令和7年度米子市スポーツ推進審議会 発言要旨（委員からの質疑応答）

### 【スポーツ推進計画に掲げる施策の令和6年度事業実施状況について】

#### 《親子体力づくり大会》

- ・鳥取県スポーツ協会でも「親子 de スポーツ」を実施しており、親子での運動活動は需要もあり意義あるものと考えている。今後の拡充等に向けた見直しを行う予定はあるか（杉村委員）  
⇒本市では親子体力づくり大会のほか親子運動教室を開催している。親子での運動活動のニーズが高いのは承知しており、引き続き実施してまいりたい。（事務局）

#### 《少年スポーツ教室》

- ・ハンドボール教室は約2日に1回の実施回数となっている。剣道や柔道教室も同様であるがその理由について（杉村委員）  
⇒剣道・柔道・ハンドボールについては週に複数の教室を実施している。（事務局）
- ・回数に比べて、委託料の額は適正なのか。（杉村委員）  
⇒剣道教室については、米子市剣道連盟が市から委託を受けてほぼボランティアで実施している。試合等の経費については保護者会から会費を集め捻出しているところ。  
（下雅意委員）  
⇒活動日数の多い教室に関しては委託料以外に保護者からの会費により費用を捻出していることは承知しており、市としては委託料のほか体育施設利用料の減免を実施している。（事務局）

#### 《フレイル予防実践教室》

- ・予算額に比べ決算額が少ない理由について。（杉村委員）  
⇒フレイル予防実践教室は民間事業所に補助する形で実施しており、参加人数が伸び悩んでいるところ。教室参加者はフレイル度チェックを実施した市民のうち測定結果がプレフレイル、フレイルの者であり、今後はフレイル度の高い方への積極的なアプローチを図っていく。（事務局）
- ・予算と決算に乖離がみられる。決算の結果を次年度予算に反映すべきと考えるがどうか。（木村委員）  
⇒フレイル予防実践の展開・今後の方向性については、フレイル予防推進協議会で目標を定め実施している。令和5年度から本事業を実施しており、今後も精査しながら進めてまいりたい。（事務局）

#### 《障がい者・誰でも親しみやすいスポーツ活動の推進》

- ・ポッチャ及びeスポーツ機材は何セットあるのか。（木村委員）  
⇒ポッチャは7セット、eスポーツに関しては所有していないが社会福祉協議会に2台ある。（事務局）

#### 《学校体育施設開放事業》

- ・執行率は高いと思われるが、各小中学校の施設等の修繕等は十分に対応できているのか。（木村委員）  
⇒当該経費は体育施設開放事業の実施（体育館・グラウンド）のための修繕料であり、そ

れとは別に各学校の施設修繕については確保している。また、学校に配分する修繕料予算についても確保しているところ。(事務局)

・体育館の未施錠や電気の消し忘れ、ゴミの放置等がみられる。利用者に対し利用方法の啓発をしていただきたい。(頭本委員)

《地区体育館及び施設の備品について》

・テニスのネットなど各施設の備品の老朽化がみられる。競技の実施にも支障を来す状況であるため、十分な修繕予算を確保すべきでないか。(木村委員)

⇒利用者の安全に関わるものを優先的に修繕予算を確保して対応しているところ。来年度の予算編成に向け指定管理者と確認を取りながら進めてまいりたい。(事務局)

《スポーツ協会運営事業》

・小学生全国大会出場激励金交付事業について、米子市の激励金の額は3千円だが、経費の半額を支出する自治体も多くあり、鳥取市は一律1万円を激励金として交付している。他市に比べてもはるかに低い額であり全国大会への出場は保護者の負担も大きいいため、増額の検討はできないか。(下雅意委員)

⇒ご意見・他の自治体の例等踏まえ、増額に向けて検討を行いたい。(事務局)

・スポーツ協会の予算額自体が少ない。県内はもとより松江、出雲などに比べ予算額も少なく運営の手法も異なっている。例えば出雲市は鳥取県のスポーツ協会と同じく法人格を持った協会として運営している。現在のスポーツ協会の予算は200万円程度と少なく、部活動の地域移行における協会の果たす役割も少なくない。本市のスポーツ協会の法人化に向けた調査・研究を行っていただきたい。(杉村委員)

⇒他市の事業を参考に調査・研究してまいりたい。(事務局)